

徴による洋服の汚染の原因の調査(Ⅱ)

愛知淑徳短大 ○古田幸子 河合芽子

1. 徴. 細菌等の微生物が得る水の色素は豊富で, その汚染は洋服に劣化をせよ  
 大なる原因となつてゐる。本I報, 本II報に於いては数種の空中真菌を分離培養し,  
 白布への汚染状況, 及びその除去方法を検討した。本報に於いては染色布の汚染状  
 況を検討した。

2. 方法 用いた生料は直接生料, 耐性生料, 塩基性生料, 建帯生料, 又は性生料  
 に, 各部属の抵抗の生料の各種織物の常法により染色させ, それらの染色布の5種の  
 菌株を培養してその変色状況を観察した。さうして菌の分泌物等による染色布の変色  
 菌体色素による着色が認められたので, それらの種類を説明すべく, Orange IIを用  
 いて生料および菌体色素の比較検討を試みた。

3. 結果 直接, 耐性, 塩基性染色布の徴による変色色がかなり顕著に認められ,  
 Fusarium等ではその生活代謝による生料の分解の水, 菌体の含有色素による着色が認め  
 られた。しかし他の染色布も水浴後の色ま, 菌体含有色素の浸染により暗色を呈した。